

2013年4月25日

報道関係者各位

No.61113

株式会社 東陽テクニカ

ネットワーク監視ツールの運用効率化を支援。暗号化されたトラフィックもリアルタイム監視
東陽テクニカが米国VSS Monitoring社と代理店契約を締結
vBrokerおよびvInspectorシリーズを販売開始

株式会社東陽テクニカ(本社:東京都中央区・社長:五味 勝、以下東陽テクニカ)は、米国VSS Monitoring社(ブイエスエス・モニタリング、本社:米国カリフォルニア州、以下VSS社)と、ネットワークパケットブローカー製品に関する日本における代理店契約を締結しました。それに伴い、ネットワークモニタリングスイッチ“vBrokerシリーズ”および“vInspectorシリーズ”の販売を開始しました。

vBrokerシリーズは、高速LAN規格40GBイーサネットまで対応したモジュール型の筐体です。LTE(Long Term Evolution)ネットワークで使用されるプロトコルであるGTP(GPRS Tunneling Protocol)解析を強化する機能やIPSなどのインラインセキュリティツールを効率良く活用するための機能等、最新技術を実装したモジュールを搭載することが可能です。

vInspectorシリーズは、SSL暗号化されたトラフィックをリアルタイムに復号して、平文化されたトラフィックをモニタツールに供給する製品です。平文化されたトラフィックは、フォレンジックツールに供給することで証跡管理の機能を強化します。また、IDSなどのセキュリティ製品に供給することで、暗号化されたトラフィックに隠れた不正パケットの検知を可能にします。

東陽テクニカでは、VSS社製品シリーズ全モデル合わせて、年間150台の出荷を目指します。

[代理店契約について]

昨今のITのインフラシステムは、ビジネスに直結するアプリケーションの品質維持やコスト削減、障害に対する即時対応性、セキュリティ対策の強化など様々な問題に直面しています。東陽テクニカでは、従来からFluke Networks社(以下、Fnets社)のNetwork Time MachineやTruViewのようなネットワークやアプリケーションの障害解析に対応できる製品やArbor Networks社(以下、Arbor社)のPeak flowのようなDDoS攻撃をはじめとする攻撃トラフィックを防御するセキュリティ製品を販売してきました。しかし、ネットワークの複雑化やトラフィックの肥大、設置場所の増加、インターフェイスの互換性により、効果的にツールを配置することが難しくなっていました。つまり、ネットワークと様々なツールとの間にギャップが生じていました。

vBrokerシリーズやvInspectorシリーズは、このギャップを埋めるための製品です。これらをFnets社やArbor社製品と組み合わせることにより、今まで以上に投資を抑え、効果的なネットワークのトラブルシューティング、パフォーマンス管理、セキュリティ管理などのソリューションを提供することが可能になります。

さらに、VSS社の技術であるvMeshにより、最大256台、10,000ポートのVSS製品を一つのメッシュ

ユ・トポロジにして統合することができます。それにより、モニタリングシステムを集中化して、ネットワーク全体を管理することができます。障害が発生した場合は、自動的にルート変更することができます。これらは、ネットワークを維持管理する通信事業者からエンタープライズ企業のIT管理者まで、様々なニーズに対応するソリューションを提供することができます。

[東陽テクニカが取扱う製品群]

- ・ vBrokerシリーズ
- ・ vProtectorシリーズ
- ・ vFinderシリーズ
- ・ vInspectorシリーズ

[vBrokerシリーズ]

米国VSS Monitoring社製vBrokerシリーズは、複数のネットワークモニタリングツールに対して最適化された回線トラフィックを供給することにより、ネットワーク監視/管理ツールの運用効率および投資効果を最大化するネットワークモニタリングスイッチです。

監視対象のネットワーク回線からの入カトラフィックに対して、接続環境や目的に応じて「アグリゲーション(集約)」、「フィルタ」、「複製」、「ロードバランシング」処理を行いネットワーク監視/管理ツールに適切に出力することができます。

本製品に接続されるネットワーク監視/管理ツール例としては、ネットワークアナライザ、セキュリティ機器(IDS、IPS)、NetFlow/RMONプローブ、パケットレコーダ、ネットワークフォレンジックツールなどがあります。

[vBrokerシリーズ]

価 格: ¥400万～

販売目標: シリーズ合計年間100台

発 売 日: 2013年4月より出荷開始

特 長:

- ・ 1G/10G/40Gイーサネット対応、最大56ポートサポート(vMeshにより、最大10,000ポートまで統合管理可能)
- ・ 全ポートフルラインスピードにてフィルタ動作可能
- ・ vMeshにより、最大256台の同社の機器、10,000ポートを一つのメッシュ・トポロジにして統合することが可能
- ・ 機能:
フィルタ、アグリゲーション、マルチポート出力、ロードバランス、ストリッピング(VLANタグ、MPLSラベル)、タイム/ポートスタンピング、スライシング、フラグメントパケット再構築
- ・ フィルタ項目:
MACアドレス、VLANおよびEthertype、IPv4プロトコルおよびDSCP/TOS、IPv4アドレス、IPv6アドレス、TCP/UDPポート番号

[vInspectorシリーズ]

米国VSS Monitoring社製vInspectorシリーズは、SSL暗号化されたトラフィックをリアルタイムに復号化し、平文化したトラフィックをネットワークモニタリングツールに供給することのできる製品です。

本製品に接続されるネットワーク監視/管理ツール例としては、ネットワークアナライザ、セキュリティ機器(IDS)、ネットワークフォレンジックツールなどがあります。

[vInspectorシリーズ]

価 格:未定～

販売目標:シリーズ合計年間50台

発 売 日:2013年5月より出荷開始

特 長:

- ・ 1G/10Gイーサネット対応
- ・ 接続方法:
パッシブ・タップ、パッシブ・インライン、アクティブ・インライン
- ・ 対応暗号化:
TLS 1.0、TLS1.1、TLS1.2、SSL3

[VSSモニタリング社(VSS Monitoring)について]

VSSモニタリング(www.vssmonitoring.com)社は、ネットワークとツールのギャップを埋めるための製品であるネットワークパケットブローカーを提供しているネットワーク・トラフィック・キャプチャ市場のリーディングカンパニーです。同社は2003年に設立されました。同社の製品は世界中の千社以上の顧客にシステムを提供し、ネットワークの可視化を最大限拡張させ、プロアクティブなネットワークのコントロールで顧客のモニタリングコストを何百万ドルも削減することを可能にしてきました。主な顧客には通信事業者、政府機関、データセンター事業者、および大手企業が含まれません。

[株式会社東陽テクニカについて]

東陽テクニカは昭和28年の設立より「技術と情報」をキーワードに、最先端の「測るツール」を主として欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の技術発展に寄与することを使命として、日本の研究者・開発者に提供してきました。「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー・トレーニングなどの取り組みは、400人を超える全従業員の8割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。東陽テクニカに関する詳細は、www.toyo.co.jpをご覧ください。

VSS Monitoring社製品に関するお問合せは下記までお願いします。

株式会社 東陽テクニカ 情報通信システム営業部

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail:vss-sales@toyo.co.jp

また、当社に関するご質問は下記までお願いします。

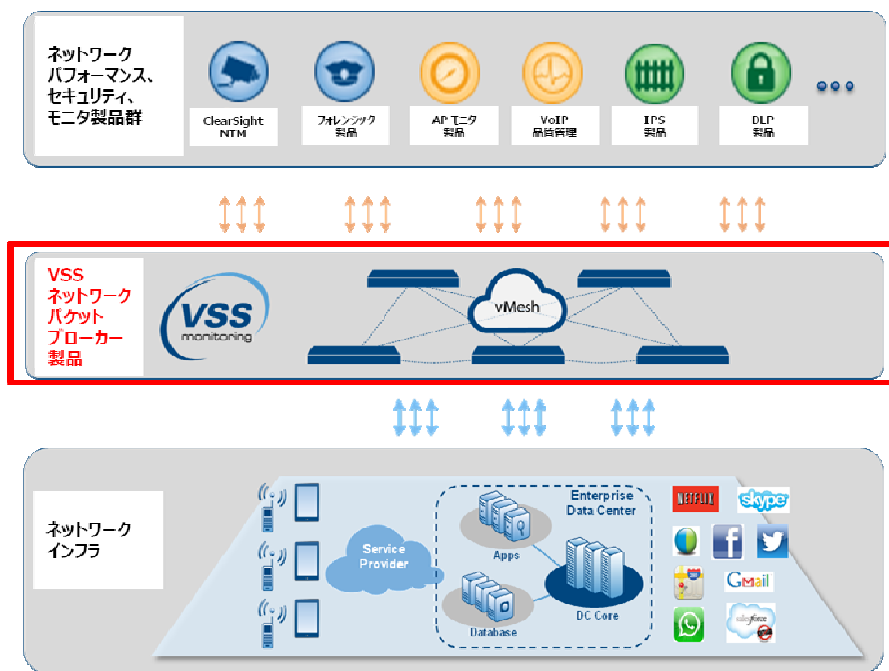
株式会社 東陽テクニカ 経営企画室

Tel:03-3279-0771 Fax:03-3246-0645 e-mail:kikaku@toyo.co.jp

* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

* 記載の商品名、価格及び担当部署、Web サイトのURL などは、本リリース発表時点のものです。

■ 画像資料（画像データをご用命の方はご連絡ください。）



(画像1)vMeshのイメージ



(画像2)vBroker本体



(画像3)vInspector本体